

山行報告書

報告書作成 平成15年5月14日

| | | | |
|--------|----------------|-------|---------|
| 山名(山域) | 十二ヶ岳(山梨県) | 目的と方法 | 春山お花見縦走 |
| 登山期間 | 平成15年4月27日(日) | 山行形態 | 前夜発日帰り |
| メンバー | CL 山田 SL 金原 | 記録 | 阿部 |

行動記録

| | |
|-------|---|
| 4月26日 | 旧市民病院P集合(14:00) = 岡崎IC(東名高速) = 富士IC = 文化洞トンネル十二ヶ岳登山口P(17:00) |
| 4月27日 | 起床(5:00) - 出発(6:00) - 毛無山(7:45) - 十二ヶ岳(9:15) - 金山(10:05) 鬼ヶ岳(10:30) 雪頭ヶ岳 - 根場(12:28) = バス = 登山口P(12:40) = いずみの湯 = 岡崎(21:15) |

概念図



日誌

ナビはなくとも、道に迷うことなく十二ヶ岳登山口Pにたどり着いた。しかしコンビニを求めて河口湖迄アルバイトをすることとなった。(コンビニは富士宮市で)しかし、夕日に赤く染まっていく富士山をゆっくり眺めながらの夕食を楽しむことができた。登山口Pはこれから駐車場を整備する為か土や石が山のように積まれている為、駐車スペースが狭くなっていた。満天の星空に明日の晴天を確信し就寝するがトンネルの近くは車の音がうるさい。今日の富士山はどんな姿を見せてくれるかと期待に胸ふくらませ目を覚ますが、ガスっている。いつガスが晴れるのかと思いつつ、足元のスマレを眺めながら毛無山までたどり着いてしまった。ここは富士山展望のポイントだったのに残念!おまけにガスっているばかりでなくポツポツと雨が降り出した。

毛無山を後にいよいよ一ヶ岳から十二ヶ岳への尾根歩きとなる。十一ヶ岳までは足取りも軽くたどり着くがここから先が難関だった。急な下りにロープが、その先には金属製の吊橋ときた!こんな天気こんな吊橋とは!しかもこれでもかと急登に鎖場が。なかなか楽しませてくれる山だ。やっとの思いで十二ヶ岳へ。しかしここからの下りも楽しませてもらうこととなる。

金山から鬼ヶ岳へは平穏な道が続き、今回は鬼ヶ岳から根場へ下るコースを選んだ。エアリアマップによると雪頭ヶ岳のところに(お花畑)とあったからだが、時期にはまだまだ早かった。なんとなく空は明るくなってきたものの眺望がないまま根場についてしまった。

感想

今回は花と眺望には恵まれなかったが、変化にとんだ山歩きが楽しかった。